

# ピンチです！ 国保財政

# 2

広報いるま6月1日号の特集「ピンチです！ 国保財政」では、市民の皆さんの税金が『法定外繰入金』として国民健康保険（国保）特別会計に補填されていることをお知らせしました。そして、この国保財政の問題を現在国保に加入されている方だけではなく、いずれは国保加入者となる皆さんにも一緒に考えていただく必要があることをお伝えしました。

今回の特集では、国保制度が抱えている構造的な問題に焦点を当てています。なぜ、法定外繰入金を0円にすることが難しいのでしょうか。



## 法定外繰入金の使いみち

- ① 医療費に対する歳入不足 約4億5,000万円
- ② 出産一時金と葬祭費にかかる経費のうち  
国・県から交付金がないもの 約3,600万円
- ③ 特定検診や人間ドックにかかる経費のうち  
国・県から交付金がないもの 約9,700万円
- ④ 国保税未納分 約3億4,700万円
- ⑤ 市単独事業(子ども医療費助成等)に対する  
国・県交付金の減額分 約3,400万円
- ⑥ その他 約3億9,000万円

## 法定外繰入金は 何に使われているのか

国保会計を維持するために、平成24年度に一般会計から補填された「法定外繰入金」の額は、約13億5400万円。市民が一人あたり9014円負担したことになります。

この「法定外繰入金」が、国保会計の何に使われているのかを左表で示しました。法定外繰入金は、「国の政策(②③⑥)」や「市独自の施策(⑤)」によって必要となる経費等に使われています。

これらの経費すべてを、所得水準が低く、保険税負担率(所得に占める保険税の割合)が高い国保加入者が負担するのは困難であることから、法定外繰入金を充てています。

## 市民の 声

広報いるま6月1日号「ピンチです！ 国保財政」をご覧になった市民の皆さんから、寄せられた意見を紹介します。

国保加入者は、病気や高齢者などの弱い者が多いのだから、不足分は今まで通り、市が面倒をみるべきだ。

国保会計の不足分は、国保加入者で負担すればいいと思う。

国保の保険税は、上げないとダメだね。

特定健康診査の受診率は、どうなってるの。みんなが病気を予防できるように、受診率をもっと上げる方法はないのでしょうか。

繰入金をなくすことができるのでしょうか。

安易に病院にかかり過ぎると思う。一人ひとりが意識を変えないとダメ。

# 法定外繰入金を

## 0円にすると…

市民の皆さんの税金が使われている法定外繰入金を0円にするため、国保に加入している方の保険税を増額したらどうなるのでしょうか。

シミュレーションの結果、保険税は現在の額の約1.6倍に増額されることになります。また、保険税負担率が世帯によっては14%にまで上昇してしまう結果となります。

このように、法定外繰入金を0円にすると、保険税額を大幅に上げなければなりません。保険税の増額は、国保加入世帯の状況に配慮した対応をしなければ、国保加入世帯の家計を圧迫することにつながります。



世帯主 67歳  
年金収入 180万円

妻 66歳  
年金収入 66万円

現在の保険税額 52,800円/年  
〈保険税負担率 8.8%〉

**法定外繰入金を0円にすると…**  
32,100円の増額

保険税額は1.60倍の **84,900円/年**  
〈保険税負担率 14.2%〉



世帯主 50歳  
営業所得 300万円

妻 50歳  
所得なし

子 17歳 (高校生)

現在の保険税額 273,100円/年  
〈保険税負担率 9.1%〉

**法定外繰入金を0円にすると…**  
143,500円の増額

保険税額は1.53倍の **416,600円/年**  
〈保険税負担率 13.9%〉



世帯主 40歳  
給与収入 400万円

妻 35歳  
パート収入 60万円

子 10歳

子 8歳

現在の保険税額 247,600円/年  
〈保険税負担率 9.3%〉

**法定外繰入金を0円にすると…**  
139,500円の増額

保険税額は1.56倍の **387,100円/年**  
〈保険税負担率 14.6%〉

※平成24年度の法定外繰入金約13億5,400万円のすべてを、保険税の増額だけで補った場合についてシミュレーションしました。国保加入者の保険税は所得に応じて課税しているため、3つのケースを想定し、試算しています。  
※資産割額は、0円として試算しています。

**たとえば…**  
この世帯が「協会けんぽ」なら本人が負担する保険料は、234,300円/年です。

国保の予算がないんだってな。オレはもう医者になんかかからないよ。

保健事業の重要性、特に健康福祉センターの活用が重要ではないか。

これ以上、国保税が上がらないようにするには、市民の健康が第一であることがわかった。

市民一人ひとりが、健康に注意して医療費を減らし、市の財政を助けなければならぬと思います。

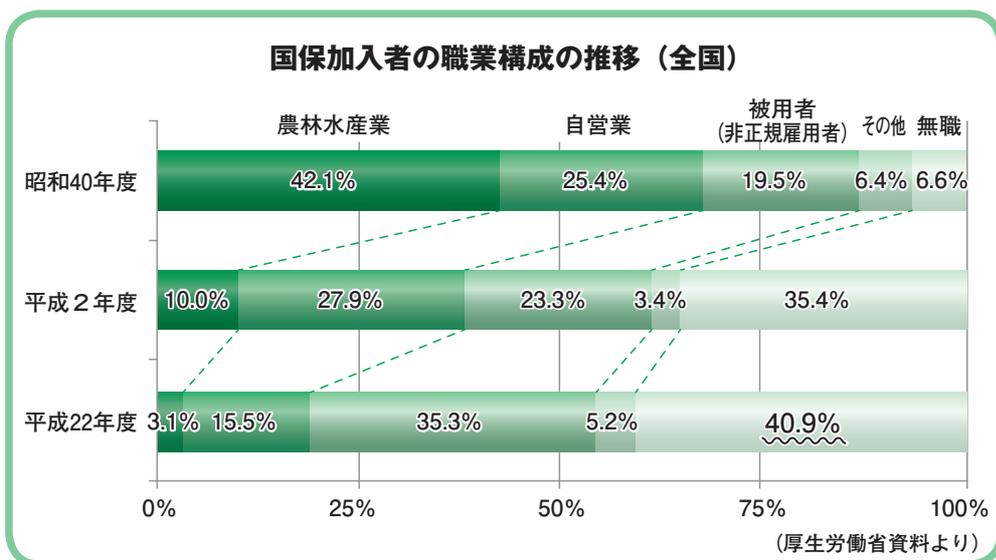
医療費を減らすためにジエネリックの申し出をするなど、市民ができることをする必要を強く感じた。

サークル活動を通じた健康づくりが、医療費の抑制に繋がれると思う。

病気になんてならないと思っていましたが、健康診断で病気が発見され、3カ月の入院をしました。今では、健康診断を友達に勧めています。

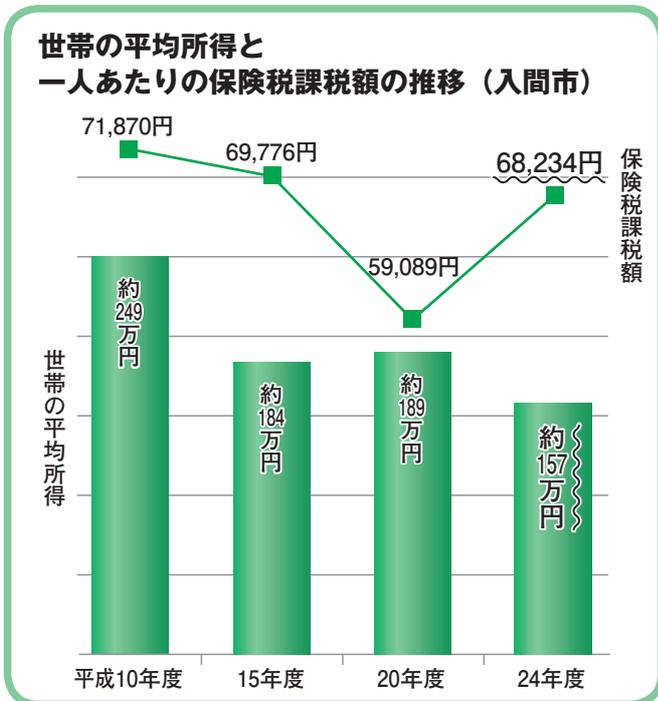
# 国保が抱える構造的な問題

① 国保加入者の職業構成  
 ↳ 無職の割合が増加し40%超に！

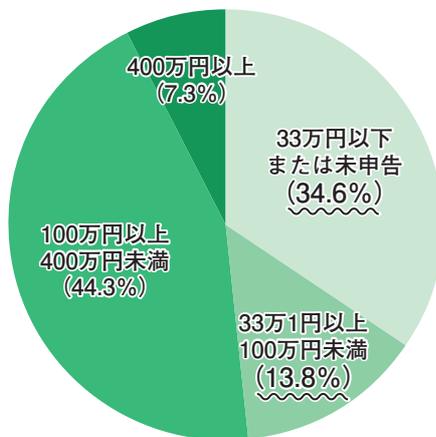


上のグラフは、国保加入者の職業構成の推移を表したものです。市町村国保の加入者は、制度創設当時の昭和40年度に比べ、農林水産業従事者や自営業者の割合が大きく減少しています。一方、高齢化の進展により年金受給者を主とする無職者の割合が増加しています。また、社会情勢の変化により被用者保険に加入できない非正規雇用者、長期療養者等の割合も増加しています。

下のグラフは、市国保に加入している世帯の平均所得を棒グラフで、加入者一人あたりの保険税課税額を線グラフで示し、それぞれの推移を表したものです。世帯平均所得、保険税課税額は、制度改正等による増減はあるものの、国保加入者の職業構成が変化したことなどが影響し、減少傾向にあります。



### 平成24年度 国保加入世帯の所得構成（入間市）



〈加入世帯数 29,111 世帯（延べ数）〉

上のグラフは、平成24年度に市国保に加入している世帯の所得構成を表したものです。「100万円以上400万円未満の世帯」が44.3%で最も多く、次いで「33万円以下または未申告の世帯」が34.6%となっています。また、このグラフからは国保に加入している全世帯のうち48.4%の世帯が、100万円未満の所得であることがわかります。

② 国保加入者の所得状況  
 ↳ 平均所得は減少傾向に！

## 特定健診をまだ受診されていない方（国保加入者）へ

市国保では、昨年度および今年度の特定健診・人間ドックの受診が確認できていない40歳～60歳の方に、受診勧奨通知を発送しました。受診期間は12月末までですので、必ず受診してください。なお、受診券がお手元にない場合はご連絡ください。

問い合わせ 健康福祉センター健康福祉課 ☎2966・5513

下の表は、市国保と被用者保険とを比較したものです。市国保は、他の保険に属さない人すべてを被保険者としていることから、被用者保険と比較すると、主に次のような違いがあります。

- 市国保は、被用者保険に比べ「65歳～74歳の加入割合（C）」が極めて高く、「加入者平均年齢（B）」も10歳以上高くなっています。そして、医療需要の多い「65歳～74歳の加入割合（C）」が高いことから、「一人あたりの医療費（G）」も必然的に高くなっています。
- 市国保加入者の「一人あたりの保険税（料）（E）」は低い。しかし「一人あたりの平均所得（D）」が低いことから、所得に占める保険税の割合である「保険税（料）負担率（F）」は他の保険に比べて高くなっています。



③

### 国保と被用者保険の比較

所得は低く、医療費は高い

国保は、加入者の職業・年齢構成・所得・医療需要など、国保制度が抱えている構造的な問題が影響していることにより、財政が悪化し、皆さんの税金を支わなければ維持できないのが現状です。今後も引き続き、国保の財政状況について皆さんにお知らせしていきます。

問い合わせ 市役所保険年金課

### 国保と被用者保険の比較

(平成23年度)

	入間市国保	協会けんぽ	組合健保
加入者数 (A)	4万5,786人	3,488万人	2,950万人
加入者平均年齢 (B)	49.6歳	36.3歳	34.1歳
65歳～74歳の加入割合 (C)	33.3%	4.7%	2.5%
一人あたりの平均所得 (D)	90万円	137万円	198万円
一人あたりの保険税(料) (E) ※	7.1万円	9.9万円	10.0万円
保険税(料)負担率 (F)	7.9%	7.2%	5.0%
一人あたりの医療費 (G)	27.9万円	15.9万円	14.2万円

※介護保険料は含みません

(厚生労働省資料より)

～市民の皆さんの健康が国保をささえます～

## 秋の生活習慣病予防キャンペーン

市国保では、市民の健康長寿実現をめざし、保健師による健康相談と簡易健康度測定器による健康度測定を実施します。

と き 10月15日(火)・16日(水)  
午前9時30分～午後3時

ところ 市役所1階市民ホール

測定できるもの

体重、基礎代謝、体脂肪率、BMI、  
内臓脂肪レベル、体年齢、血液循環の  
良否

※相談を希望する方は、健康診断等  
の結果をお持ちください。

問い合わせ 市役所保険年金課

どなたでも  
無料で  
参加できます



めざそう  
健康長寿!

埼玉県けんこう大使(テオ)  
(入間市代表)